

講演 3

ナッジで健康行動へ動かす ～ 認知バイアスを味方につけた介入～



たけばやし まさ き

竹林 正樹

青森大学社会学部
客員教授

要旨

「患者さんに生活指導を行ってもなかなか行動に移してくれない」。これは医療者がよく直面する悩みです。これに直接お答えできる学問は、おそらく行動経済学です。行動経済学は、健康の大切さを分かっているのに、健康行動を後回しにしてしまう人を動かすのに適した学問です。

本講演では、行動経済学の主要理論である「ナッジ」に着目し、どのように使えば人が動くのか、エビデンスと実践を交えながら紹介します。

キーワード

行動経済学, 認知バイアス, 現状維持バイアス, プライミング (先行刺激) 効果, ピークエンドの法則, 現在バイアス, 認知容易性バイアス, EAST (Easy, Attractive, Social, Timely)

語句解説

講演 1

講演 2

講演 3

講演 4

講演を
終えて

最新
トピックス

徒然なる
ままに。